

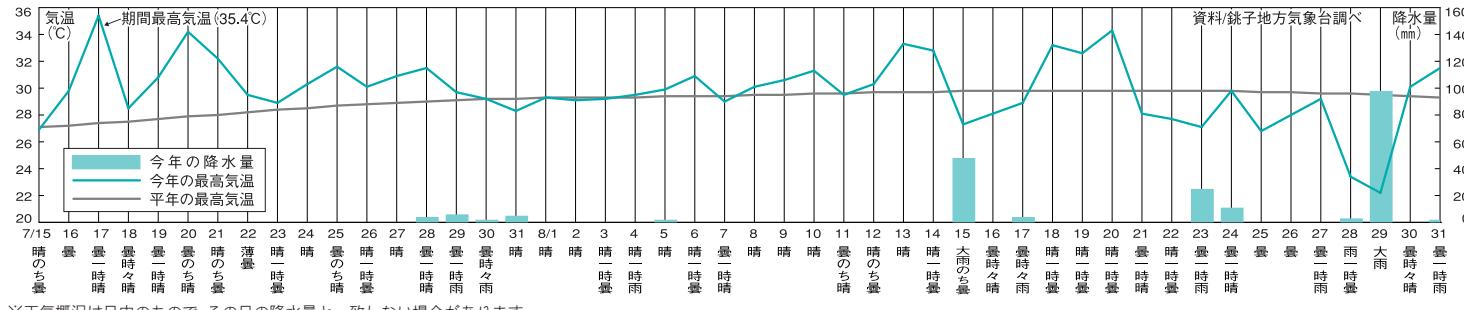


平成16年
9月25日号
No. 1178

●毎月5・15・25日発行

広報かもがわ

- 編集発行・鴨川市役所秘書課
- 電話・0470(93)7827
- FAX・0470(93)7850
- 鴨川市横渚1450
- 郵便番号・296-8601



※天気概況は日中のもので、その日の降水量と一致しない場合があります



新型特急の外観は、海の「青」と砂浜の「白」、菜の花の「黄色」を基調とした鮮やかなデザインで、房総のイメージにぴったりです。車内には、車いす用のスペースやベビーベッド、洋式トイレを新設。座席間のスペースも広げるなど、利用者に優しい設計です。今後は、リゾート鴨川の“新しい顔”として、快適な旅を演出します。

ツアーの行き先は3コース 申し込みはJR安房鴨川駅へ

- 期日 10月16日（土）
- 時間 午前8時36分に安房鴨川駅を始発
- 行き先・料金など

- ①「東京ディズニーランド」=大人9,000円、子ども5,600円（1デーパスポート付き）
- ②「隅田川下りと浅草散策」=大人11,800円、子ども9,800円（昼食付き）
- ③「東京フリータイム」=大人5,500円、子ども4,000円（イオカード1,000円分付き）

※申し込みはJR安房鴨川駅（☎ 01111）へ

2004年 夏の総決算

猛暑と少雨の夏

最高気温は
35.4℃

東京では四十日連続の真夏日を記録。気象庁がこのほど発表した気候統計値によると、今年は「猛暑と少雨」の夏となりました。晴天に恵まれ、海水浴場の入り込み客数が増加に転じた一方、山間地では雨不足による農作物への被害も発生しました。局地的な豪雨災害や、平年を上回る台風の上陸など、候に見舞われた日本列島の様子を交えながら、過ぎ去った鴨川の夏をダイジェストで振り返ります。

とじて保存しましよう

海水浴場の入り込み状況

海水浴場	入り込み数(昨年比)
前原	135,580人(142.0%)
太海	24,610人(135.0%)
江見	10,260人(142.1%)
計	170,450人(141.0%)

8月の水需要は過去最大に

ところでの市民生活を支える「水」の確保は、十分にできたのでしょうか。市水道局に問い合わせたところ、八月の検針時点で使われた水量は、過去最大の三十九万トン。水需要は平

年に比べ四万トン以上も多いものでした。これに追い打ちをかけるかのような猛暑と少雨に、給水制限や断水を心配された方もいたので幸い、市民の水がめを担

う保台ダムは、渴水期に貯水率四十四割まで落ち込んだものの、市民生活への影響を与えることなく、水の安定供給を続けることができました。



夏の水需要を支えた保台ダム

学生さんにインタビュー

鴨川の夏はどうでした？

市内に相次いでオープンした早稲田大学と城西国際大学、東洋大学のセミナーハウスや教育研究施設。夏休み期間中だけでも、学生など8,000人以上が訪れます。ゼミやサークル活動に利用しています。鴨川の印象はどうだったのでしょうか。お話を伺ってみました。

《早稲田大学》

- ▶「鴨川に来るのは初めて。セミナーハウス周辺は静かで、勉強に最適です」（理工学部3年、春日雄太さん）
- ▶「市内にあるすばらしい神社仏閣を、積極的にPRしてもらいたいですね」（文学部、新川登亜男教授）
- ▶「電車の窓から見える海岸線が、とても気に入りました」（文学部博士課程1年生、山口えりさん）

《城西国際大学》

- ▶「市全体の景観が統一されると、もっと魅力あるまちになると思いますよ」（メディア文化学科、袁福之博士）
- ▶「市内の伝統行事を魅力いっぱいに撮影したいですね」（メディア文化学科3年、小田聰史さん）
- ▶「市民の方と話をする機会に恵まれました。とてもよい思い出です」（福祉社会専攻大学院、李海月さん）

《東洋大学》

- ▶「音楽サークルの合宿で来ました。施設は駅から近く、とても便利ですね」（社会学部3年、沼波茜さん）
- ▶「観光案内所で情報をもらい、市内散策や温泉巡りを楽しみました」（社会学部4年、柴本智仁さん）
- ▶「自由時間にボディーボードをしました。外房の波は躍動感がありますね」（経営学部3年、須崎健太さん）

納税はお早めに

9月は国民健康保険税第3期の納期です（市税務課）